

品質チェーン構築のための適合性評価制度の動向調査と研究会の設置について

1. 概要

社会経済活動の機能的な技術インフラとしての認定・認証といった適合性評価制度のより安定的な構築に向け、品質を支える規格・計量・校正・試験・認定・認証・検査・監査などを品質チェーンとして体系的に捉えて整理しつつ、中長期的な視点に立ってNITEの事業戦略の検討を進める。同時に品質チェーン高度化のための政策的な提言を行う予定。

2. 実施内容

- ① シンクタンクを活用した国内外（国外は5か国以上）の適合性評価制度の現状と動向の調査・分析
⇒ガイダンスの形式でとりまとめる
- ② 経済産業省をはじめとした有識者との間で研究会の形式で検討
（設置期間：令和2年12月～令和4年3月（予定））
⇒今後の日本の適合性評価制度のあり方や最適化についての方向性をとりまとめる



【参考図】

サプライチェーンやバリューチェーンの中で、R&D段階からの知財マネジメントを意識し、強固な『品質チェーン』構築のためのNITEの方策を検討。